

アルファ・ウイン 企業調査レポート

デジタルメディアプロフェッショナル (3652 東証マザーズ) 発行日：2020/8/18

アルファ・ウイン 調査部
<http://www.awincap.com/>

● 決算速報

◆ グラフィックス技術に特化した研究開発型ファブレス半導体ベンダー

・デジタルメディアプロフェッショナル（以下、同社）は、同社が独自に開発したグラフィックス技術をライセンス供与、またはこれを組み込んだ LSI 製品の生産を外部委託し販売する研究開発型ファブレス半導体ベンダーである。

◆ 2021 年 3 月期第 1 四半期業績

- ・同社の 2021/3 期第 1 四半期（以下、Q1）連結業績は、売上高 229 百万円（前年同期単体比 3.8 倍）、営業損失 114 百万円（前年同期損失額 154 百万円）、経常損失 93 百万円（同 195 百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失 93 百万円（同 195 百万円）であった。なお、同社は 2020 年 4 月にベトナム子会社を設立し、2021/3 期 Q1 より連結財務諸表を作成しているが、現段階におけるベトナム子会社の売上高計上先は親会社のみで外部売上高はない。
- ・事業別売上高では、IP コアライセンス事業は 28 百万円（前年同期単体比 17.6%減）。人工知能（AI）を活用した車両（ロボティックビークル）向けの新規ライセンス契約による売上計上があったものの、デジタルカメラを中心とするデジタル機器向けのランニングロイヤリティ収入の落ち込みが影響し減収であった。
- ・LSI 製品事業は 166 百万円（前年同期単体は 0.2 百万円）。前年同期にはなかったパチンコ・パチスロ向けの画像処理プロセッサ「RS1」の量産出荷に加え、組込み機器向け AI FPGA（書換え可能な論理回路 LSI）モジュール「ZIA C3」の売上を計上した。
- ・プロフェッショナルサービス事業は 34 百万円（前年同期単体比 30.8%増）。新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）向け受託収入、及びロボティックビークル向け等の AI 関連受託開発サービスが大幅増収に貢献した。
- ・売上総利益は前年同期単体比 2.6 倍となったが、採算性の低い LSI 製品事業の売上構成比の高まりにより売上総利益率は 30.7%と同 14.4%ポイント低下した。また、販売費及び一般管理費（以下、販管費）は 185 百万円と前年同期単体比 1.8%増にとどまった。
- ・経常損失の改善額は営業損失の改善額に優る結果となった。新株発行費（56 百万円）の剥落に NEDO 向け助成金収入（21 百万円）の計上に加わり、営業外損益が前年同期単体比で 62 百万円改善したためである。

◆ ストックビジネスがスタート見込み

- ・同社はサブスクリプション型の新たなストックビジネスを獲得、2021/3 期下期からの安定的な継続収益を期待している。今回スタートするサブスクリプションは、ドライブレコーダー等を活用した安全運転に係るサービスなどの利用権利を契約した期間内に許諾・提供するものである。その事業規模は開示されていないが、同社事業の多様化や業績の安定化につながる事例として注目される。

◆ 自己資本比率は高い水準を維持

- 自己資本比率は 2020/3 期末（単体）92.2%、2021/3 期 Q1 末（連結）93.6%と高い水準を維持している。現金及び預金（Q1 末連結）は 2,182 百万円と、2020/3 期（単体）の売上高の 1.6 倍に相当する。

◆ 2021 年 3 月期業績予想

- 同社は、2021/3 期業績予想について Q1 決算公表時点においても未定としている。新型コロナウイルス感染症がパチンコ・パチスロ等の遊技機市場や顧客の開発投資等に与える影響を合理的に算定することが、依然困難と判断したためである。同社の LSI 事業が、パチンコ・パチスロ等の遊技機市場の動向に大きく左右されるだけに、その先行きを慎重に見極めたいと考えているようだ。ただ、配当予想は無配継続を計画している。
- アルファ・ウイン調査部（以下、当調査部）の 2021/3 期連結業績予想は、前回発行したレポート（2020 年 6 月 23 日発行）における単体業績予想を踏襲する。具体的には、売上高 1,460 百万円（前期単体比 9.9%増）、営業利益 31 百万円（同 62.5%減）、経常利益 86 百万円（同 1.1%増）、当期純利益 68 百万円（同 4.1%増）、と予想した。事業別売上高予想についても、IP コアライセンス事業は 300 百万円（同 21.1%減）、LSI 製品事業は 660 百万円（同 19.3%増）、プロフェッショナルサービス事業は 500 百万円（同 26.9%増）、を据え置いている。
- IP コアライセンス事業、及びプロフェッショナルサービス売上高予想は、前回予想時点からプラス・マイナス要因が見込まれるものの、全体としては概ね想定範囲内とした。LSI 製品事業においては、画像処理プロセッサ「RS1」の出荷を四半期毎に 1 回とする想定を継続した。
- 全社ベースでは増収見込みながら採算性の高い IP コアライセンス事業の減収予想が響き、営業利益の大幅減益見通しに修正はない。営業外収支は NEDO からの助成金収入が前期同様に見込まれる一方で、第三者割当増資の実施に係る諸費用が剥落するため改善、これを受けて経常利益は前期比微増予想としている。
- 当調査部の 2022/3 期業績予想においても、2020 年 6 月 23 日発行時点の単体予想を踏襲した。なお、2021/3 期中にスタート見込みの新たなストックビジネスは、プラス要因となる可能性がある。

【 3652 デジタルメディアプロフェッショナル 業種：情報・通信業 】 図表 A

決算期	売上高 (百万円)	前期比 (%)	営業利益 (百万円)	前期比 (%)	経常利益 (百万円)	前期比 (%)	純利益 (百万円)	前期比 (%)	EPS (円)	BPS (円)	配当金 (円)
2019/3 通期	1,086	11.6	28	-58.5	33	-49.9	35	-67.8	12.54	710.70	0.0
2020/3 通期	1,328	22.2	82	185.6	85	155.4	65	86.0	21.21	1,131.88	0.0
2021/3 通期CE	未定	-	未定	-	未定	-	未定	-	-	-	0.0
2021/3 通期E	1,460	9.9	31	-62.5	86	1.1	68	4.1	21.60	1,147.35	0.0
2022/3 通期E	1,890	29.5	124	300.0	124	44.2	95	39.7	30.18	1,177.53	0.0
2020/3 Q1	61	-55.6	-154	-	-195	-	-195	-	-66.67	1,049.11	-
2020/3 Q2	293	-16.5	-207	-	-231	-	-231	-	-76.30	1,038.02	0.0
2021/3 Q1	229	275.0	-114	-	-93	-	-93	-	-29.95	-	-
2021/3 Q2CE	未定	-	未定	-	未定	-	未定	-	未定	-	0.0

(注) CE：会社予想、E：アルファ・ウイン調査部予想

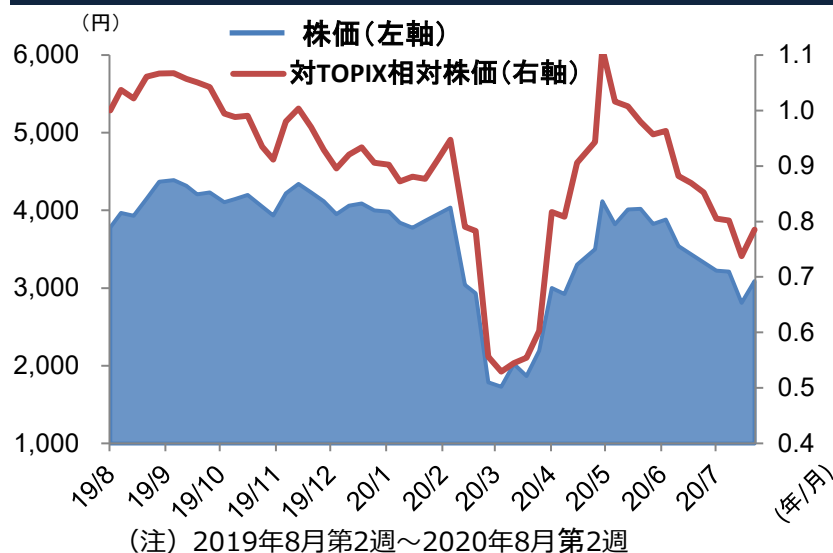
2020/3期までは単体決算、2021/3期以降は連結決算、Q2は累計期間、2021/3期の前期（前年同期）比は前年同期単体比

【 株価・バリュエーション指標：3652 デジタルメディアプロフェッショナル 】 図表 B

項目	2020/8/14	項目	PER (倍)	PBR (倍)	配当利回り	配当性向
株 価 (円)	3,315	前期実績	156.3	2.9	-	-
発行済株式数 (千株)	3,147	今期予想	153.5	2.9	-	-
時価総額 (百万円)	10,434	来期予想	109.8	2.8	-	-
潜在株式数 (千株)	0	前期末自己資本比率		92.2%	前期ROE	2.4%

(注) 予想はアルファ・ウイン調査部予想

【 株価チャート (週末値) 3652 デジタルメディアプロフェッショナル 】 図表 C



【パフォーマンス】		
期間	リターン	対TOPIX
1か月	18.1%	8.8%
3か月	-17.3%	-20.4%
6か月	9.0%	1.5%
12か月	-15.6%	-21.4%

(注) 月末値が基本、直近1か月は7/31と8/14との比較

ディスクレーマー

ディスクレーマー

アルファ・ウイン企業調査レポート（以下、本レポート）は、掲載企業のご依頼によりアルファ・ウイン・キャピタル株式会社（以下、弊社）が作成したものです。

本レポートは、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。弊社は投資家の皆様が本レポートを利用したこと、又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても一切責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならない、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。

本レポートの内容は、一般に入手可能な公開情報に基づきアナリストの取材等を経て分析し、客観性・中立性を重視した上で作成されたものです。弊社及び本レポートの作成者等の従事者が、掲載企業の有価証券を既に保有していること、あるいは今後において当該有価証券の売買を行う可能性があります。

本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。（更新された）最新のレポートは、弊社のホームページ（<http://www.awincap.com/>）にてご覧ください。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。

本レポートの著作権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

取材や客観的な事実に基づいて、極力、中立的な立場からレポートの記載に努めています。また、会社による予想や判断と弊社による予想及び判断を区分し、記載するようにしております。

本レポートについてのお問い合わせは、電子メール【info@awincap.jp】にてお願いいたします。但し、お問い合わせに対し、弊社及び本レポート作成者は返信等の連絡をする義務は負いません